

(学校用)

回答日：令和 7 年 1 月 9 日

前橋市公民館運営審議会では、前橋市からの諮問「地域学校協働活動と公民館」に対して、令和 6・7 年度の 2 年間で協議を行い、答申書を前橋市に提出します。つきましては、学校、地域及び公民館との連携事業等について、以下のご質問への回答にご協力をお願いいたします。

1 大胡地区学校支援連絡会主催

令和 6 年度第 3 回キャリア教育「仕事に対する夢を育む授業」についてお伺いします。

(1) 本授業の開催趣旨をご教示ください。

大胡地区の身近な人から、職業について話を聞き、人との関わりを広げながら、皆のために働くことの意義を理解し、自分の役割を主体的に果たそうとする態度を育てる。

(2) 本授業を学校や地域と連携して開催するねらいをご教示ください。

学校の学びをより充実したものにするには、学校だけではできない体験、触れられない専門性等を子供たちに提供することが有効であるが、実施に向けては負担も大きい。本授業は、それを地域が主体となって子供たちに提供していることに大きな意義がある。

2 令和 6・7 年度前橋市公民館運営審議会の諮問「地域学校協働活動と公民館」に伴い、学校や地域、公民館との連携についてお伺いします。

(1) 地域と学校を結ぶ公民館として、公民館に期待することは何ですか。

サービスセンター機能の充実だけでなく、主体的な学校の支援者の発掘・育成などの社会教育機関としての充実も図れるよう、人的配置など市が重要施策として取り組んでほしい。

(2) 公民館と連携して事業を行う際、苦勞する点はありますか。

子供が参加する公民館の主催事業に関しては、特に苦勞は感じない。以前は、実施に当たって取りまとめや準備に負担がかかるような話も聞いたが、最近はあまり聞かなくなった。

(3) 学校と地域がこれまで以上に連携するために必要だと思うことはありますか。

大胡地区学校支援連絡会のように、学校のニーズに主体的に対応できるような団体や人材が必要だと考える。

(4) 学校と地域がこれまで以上に連携するために公民館がすべきことは何だと思いますか。

地域の教育資源の発掘・育成、学校のニーズとのコーディネートだと考える。しかし、昔に比べ、サービスセンター業務の負担に加え、社会教育主事の配置も少なくなっているなどの現状もある。公民館の社会教育機関としての重要性を行政全体が認識し、具体的な施策を考え実行してほしいと思う。

(5) 今まで公民館や地域と連携して事業を行う中で上手くいった、または失敗した事例があればご教示ください。

大胡地区学校支援連絡会による「仕事に対する夢を育む授業」がうまくいったよい例だと思う。

(6) 上記の事例で、成功・失敗のポイントは何だったとお考えでしょうか。

地域側が主体となり、学校へ提供していただいているため、学校側は負担なく、積極的に活用できているからだと考える。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

前橋市公民館運営審議会事務局
前橋市中央公民館内 担当：新井
TEL 027-210-2199 FAX 027-237-0722
E-mail : Chuo_komin@city.maebashi.gunma.jp